

科目名	日中関係論（遠隔授業）	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	佐藤 若菜		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-3-330008	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	（全回オンライン授業を行う）中華人民共和国成立から現在までの日中関係の変遷について理解する。毎回の講義では、日中関係に関わる問いを投げかけます。学生が、それに対する考えをコメントペーパーに記述するといった課題解決型の授業形態を採用します。				
学修到達目標	中華人民共和国成立から現在までの日中関係の変遷を踏まえて、これからの日中関係について議論することができる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	ガイダンス 日中関係の現状について
第2回	2005年以降の反日デモとその背景
第3回	2005年以降の反日デモとその背景

第4回	1995-1996年における日中関係の転換
第5回	日中関係の転換期に中国国内で起きたこと
第6回	日中関係の転換期に日本国内で起きたこと
第7回	戦後の日中関係
第8回	中国分断問題と日中関係
第9回	米中和解と日中関係
第10回	日中国交正常化
第11回	日中国交正常化への評価
第12回	蜜月期の到来とODA
第13回	蜜月期を支えた人々

第14回	これまでのまとめ
第15回	小テスト レポートの書き方について
第16回	レポート

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。配付資料を熟読し、関連資料を調べる。
【復習】時間・内容	2時間。授業ノートを再読し、不明点を調べ理解する。

成績評価	
評価基準・方法	レポート（50%）、小テスト（25%）とコメントペーパー（25%）により評価する。
フィードバック方法	毎回、授業の最後にコメントペーパーを配布・回収し、次の授業の冒頭で質問等に答える。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	PBL (課題解決型学習)
教科書/参考書	なし
受講上の留意点等	本講義は、全ての回において遠隔授業を実施する。
JABEE	